

第63回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 開催要項

(独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ団体大会開催助成事業)

- 主催・主管 公益社団法人 全日本アーチェリー連盟
- 後援 スポーツ庁 静岡県教育委員会 掛川市教育委員会 (公財)静岡県スポーツ協会
(NPO法人)掛川市スポーツ協会 つま恋リゾート彩の郷 東海アーチェリー連盟
- 日程 2021年10月23日(土)～24日(日)

日程	時間	スケジュール
10月23日(土)	第1部 (RC女子)	
	8:30 ~ 9:10	受付・用具検査
	9:10 ~ 9:25	競技説明
	9:30 ~ 10:00	練習
	10:00 ~ 12:15	競技(70mラウンド 72射)
	12:45 ~ 13:00	成績発表・表彰
	第2部 (RC男子)	
	11:30 ~ 12:40	受付・用具検査
	12:40 ~ 12:55	競技説明
	13:00 ~ 13:30	練習
13:30 ~ 15:45	競技(70mラウンド 72射)	
16:15 ~ 16:30	成績発表・表彰	
10月24日(日)	第3部 (CP男女・BB男女)	
	8:30 ~ 9:40	受付・用具検査
	9:40 ~ 9:55	競技説明
	10:00 ~ 10:30	練習
	10:30 ~ 12:45	競技(50mラウンド 72射)
13:15 ~ 13:30	成績発表・表彰	

※ 競技の進行状況により、時間は変更になる場合がある。

- 会場 つま恋リゾート彩の郷「第1多目的広場」
静岡県掛川市満水2000 TEL0537(24)1111
JR東海道新幹線・・・掛川駅下車→ タクシー → つま恋
東名高速道路・・・掛川ICまた菊川IC→ つま恋北ゲート
- 競技種目 リカーブ部門 : 70mラウンド
コンパウンド部門 : 50mラウンド
ベアボウ部門 : ベアボウ50mラウンド
- 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 2020～2021年 (ターゲットアーチェリー)による。
- 参加定員

部門	選考対象	種別	定員
リカーブ部門	前年度優勝者	男子	1名
		女子	1名
	ブロック大会優勝者	男子	9名
		女子	9名
	70mラウンド 記録選考	男子	86名
		女子	56名
コンパウンド部門	前年度優勝者	男子	1名
		女子	1名
	50mラウンド 記録選考	男子	35名
		女子	11名
ベアボウ部門	50mラウンド 記録選考	男子	12名
		女子	6名
合計			228名

8. 予選通過人数 日本国籍を有する選手。

部 門	種 別	通過人数
リカーブ部門	男子	32名
	女子	32名
コンパウンド部門	男子	16名
	女子	8名
ベアボウ部門	男子	8名
	女子	4名

9. 表 彰

部 門	種 別	表彰人数
リカーブ部門	男子	1位～8位
	女子	1位～8位
コンパウンド部門	男子	1位～8位
	女子	1位～4位
ベアボウ部門	男子	1位～4位
	女子	1位

10. 参加資格

- ① 競技日程の全スケジュールに参加可能な者。
- ② 2021年度(公社)全日本アーチェリー連盟に登録済みの者。
- ③ リカーブ部門: 70mラウンドのブルーバッジ以上の所有者。
コンパウンド部門: 50mラウンドのブルーバッジ以上の所有者。
ベアボウ部門: ベアボウ50mラウンドの男子ブルーバッジ以上、女子ブラックバッジ以上の所有者。
- ④ 第62回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会優勝者(リカーブ部門・コンパウンド部門各種別1名)。
- ⑤ 9ブロック(北海道・東北・関東・北信越・東海・関西・中国・四国・九州)が指定する地区大会のリカーブ部門優勝者。
- ⑥ 第12項の選考対象期間内に開催された70mラウンド、50mラウンドおよびベアボウ50mラウンド全ア連公認競技会において、下記⑦以上の記録を2回以上有する者。
- ⑦ 申請記録

部門	種 別	70mラウンド	50mラウンド
リカーブ部門	男子	630点	—
	女子	620点	—
コンパウンド部門	男子	—	660点
	女子	—	650点
ベアボウ部門	男子	—	550点
	女子	—	500点

11. 選考方法

- ① 第1シード: 第62回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会優勝者。
前回大会優勝者が辞退した場合、2位からの繰り上げは行なわない。
- ② 第2シード: リカーブ部門の地区(ブロック)大会優勝者。
地区大会優勝者が辞退した場合、2位からの繰り上げは行なわない。
- ③ 上記①②のシード選手が辞退した場合の欠員分は、記録選考枠に組み入れる。
- ④ 申請記録の上位の者から選考する。但し、申請点が同点の場合、全国大会、地区大会、都道府県大会の順で優先順位を決定し選考する。
それでも決定できない場合は、選考委員による抽選で決定する。
- ⑤ 参加申し込みが定員に満たない種別が発生した場合、その数を他の種別に振り分ける場合がある。

12. 選考対象期間

2020年9月22日(火)から2021年9月13日(月)まで。

なお、2020年度第62回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会の記録も対象となる。

13. 参加費 6,000円

14. 申込方法

- ① 前記の資格を有する者は、別紙「個人申請書(単票)」に必要事項を記入して加盟団体へ申し込むこと。
※ この「個人申請書(単票)」の内容が間違いないか申請者および加盟団体が必ず確認して申し込むこと。
- ② 加盟団体は上記①「個人申請書(単票)」を基に「出場資格申請書(一覧)」を作成する。
- ③ 加盟団体は上記②「出場資格申請書(一覧)」を一括して、E-メールにて連盟事務局へ申し込むこと。
- ④ 選考決定後の辞退はできないので注意すること。
- ⑤ 選考会議により出場選手が決定したら、直ちに加盟団体に選考結果を通知する。
- ⑥ 加盟団体は選考結果通知後1週間以内に下記指定口座に参加費を振り込み、その控えまたはコピーを別紙納付書に添えて全ア連に送付すること。
振込先 名義 全日本アーチェリー連盟
* 銀行口座 みずほ銀行 渋谷支店 普通 1581848

15. 申込先 メールアドレス : entry@archery.or.jp

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 707号室

(公社) 全日本アーチェリー連盟

TEL:03-6459-2812 FAX:03-6459-2813

16. 申込期日 2021年 9月21日(火) 午後5時 厳守。

* 選考会議 9月25日(土)

17. その他

- ① 感染症対策の観点から、無観客試合となる場合があります(出場選手発表時に連絡いたします)。また、本大会の定めた範囲での監督・コーチのみの入場を許可いたします(選手決定時に通知)。
- ② 車椅子・左射ち・マスタブ等、立順などに配慮が必要な選手は、その旨を備考欄へ記入すること。なお、矢取り代行が必要な場合は各自で準備すること。
- ③ 選手は指定された時間に、受け付けおよび用具検査を受け、開始式の時は会場内にいること。
- ④ 申込期日近くに開催した公認競技会の記録を申請記録とする場合は、FAXまたはE-MAILで仮申請を行うことを認める。但し、速やかにシステムの競技会報告の処理を行うこと。
- ⑤ 選手はスターバッジおよび会員カードを必ず携帯すること。
- ⑥ 本大会では、ドーピング検査を実施する。
- ⑦ 個人情報の取扱いについては、申請時に加盟団体は選手本人に第20項の内容を示し了解を得ること。
- ⑧ 競技中の負傷は応急処置のみとし、それ以上の責任は負わない。
なお、出場選手については主催者が傷害保険(スポーツ保険)に加入する。
- ⑨ 納付した参加費は返還しない。

18. 宿泊および弁当について

宿泊施設、弁当の手配申込は出場決定連絡時に案内する。

19. 選手の心構え

- ① 選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
- ② アンチ・ドーピングについて
競技者は次の役割と責任を担う。(全日本アーチェリー連盟 アンチ・ドーピング規則 第22. 1項)
 - i アンチ・ドーピング規則をすべて理解し、遵守すること。
 - ii いつでも検体採取に応じること。
 - iii アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物および使用物に関して責任を負うこと。
 - iv 禁止物質および禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規則に基づき導入されたアンチ・ドーピング規範および規則に対する違反に該当しないようにすること。
 - v 自身が過去10年間の間にアンチ・ドーピング規則違反を行った旨の非署名当事者による発見の決定を国内アンチ・ドーピング機関およびWAに開示すること。
 - vi ドーピング調査を実施するアンチ・ドーピング機関のドーピング調査に協力すること。
 - vii 競技者がドーピング調査を実施するアンチ・ドーピング機関に協力しないことは、WAの懲戒規則/行動規範に基づき不正行為の請求がなされる可能性がある。

【ドーピング検査について】

- i 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ii 競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。
18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

- iii 選手は、写真付き身分証明書(学生証、社員証、自動車免許証、パスポート等)を持参してください。
(本人確認のため義務付けられている)
- iv 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト
(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- v 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- vi 本競技会参加者は、競技前7日間に服用した医薬品、塗布、注射等医療行為を施したり、使用したものの(処方薬、売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携行することが薦められます。
- vii 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- viii 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。

20. 個人情報の取扱いについて

- ① 使用目的は次のとおり。
 - i 加盟団体への出場決定者選考結果通知。
 - ii 大会プログラム作成(大会プログラムは、大会関係者以外に一般およびマスメディアに公開する)。
 - iii マスメディア、会場内での参加選手や観客および加盟団体への成績表の配布並びに送付(ホームページ掲載を含む)。
 - iv 大会運営に必要な場内アナウンス、掲示板等への掲示。
 - v 本連盟の公式ホームページおよびFacebookへの画像・映像の掲示。
なお、掲載されたくない場合は、その旨を事前に本連盟に連絡すること。
 - vi 新型コロナウイルス感染症の管理・追跡などに伴う通知・連絡等。
- ② 上記以外に利用する場合は、本人に通知し承諾を得る。
- ③ その他個人情報の取扱い(プログラム作成時の印刷業者への委託等)については、本連盟個人情報保護規程に基づき行う。

21. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

新型コロナウイルス感染拡大の防止について、次の各項にご協力ください。

- ① 以下の各事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
 - i 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ii 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - iii 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 必ずマスクをご持参ください(参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用してください)。
- ③ 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)や各地域で取り組まれている通知サービスを活用してください。
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m以上)を確保してください)。
- ⑥ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないでください。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。
- ⑧ 競技終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター